

回 覧

前橋市防犯協会南橘分会 広報 令和7年12月 第4回発行

◎防犯委員の研修視察の実施について

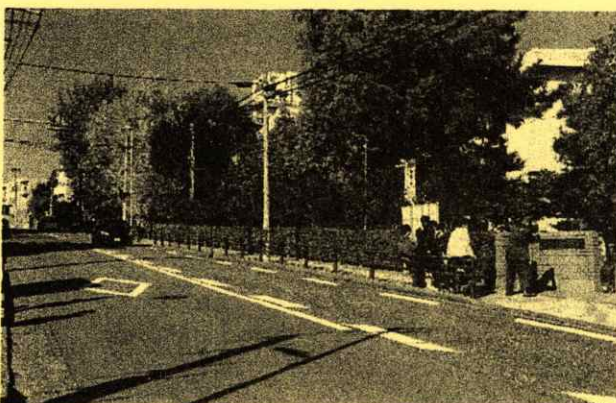
前橋市防犯協会南橘分会の防犯委員の資質向上のため、令和7年11月15日から16日の日程で、研修視察を実施し、内容として、「忘れるな拉致新潟県民集会」への参加、「横田めぐみ（昭和52年当時14歳、中学1年生）」さんの拉致現場と思われる新潟市立寄居中学校周辺の視察いたしました。

北朝鮮による拉致被害者は、政府認定**17名**のほか各都道府県警察発表の拉致の可能性のある方々が**536名**もいらっしゃいます。

集会では、拉致問題担当大臣兼内閣官房長官「木原 稔」氏の挨拶に続き、横田めぐみさんの母「横田早紀江」さんは、体調を崩されていたのでビデオメッセージでの参加、続いて母親と共に拉致された「曾我ひとみ」さんの訴え被害者の訴えを拝聴いたしました。

一日も早く拉致された被害者を取り戻し、元通りの幸せな生活を送りたいと切実な思いを聞き、犯罪を許さない我々防犯委員としても強く決意したところです。

今後も、犯罪防止のため南橘地区防犯委員によるパトロールを強化する必要があると考えております。



新潟市立寄居中学校は、海まで750m、なんの変哲もない住宅地にあり、坂道を上り左側に日銀官舎があり、学校から直線で1キロ程度に横田めぐみさんが住んでいましたが下校時に拉致されてしまいました。



曾我ひとみさんは、昭和53年当時22歳で、46歳の母親と拉致されて、単身帰国しました。一日も早く母に会いたいと涙を流しながら訴えていました。